

梨生企生安第506号
平成28年8月22日

山梨県建設組合連合会
会長 深澤 俊雄 殿

山梨県警察本部生活安全部長
警視正 細入 浩幸



電話詐欺撲滅に向けた対策への協力要請について

残暑の候、貴台におかれましては、益々御清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素から警察業務の各般にわたり、御理解と御協力を賜っておりますことに対して厚く御礼申し上げます。

さて、昨年、山梨県内における振り込め詐欺など電話詐欺の被害は、一昨年を14件上回る86件を認知するなど年々増加し、被害総額も3年連続で2億円を超えるという状況であります。このため、県警察では金融機関と連携し、金融機関の職員が高額の預金払出等を行う高齢者に対して現金の用途などを質問する声かけを行うとともに、詐欺の疑いがある場合は金融機関から要請を受け警察官（特殊詐欺サポート隊「SKET」（すけっと））が臨場して事情聴取を行う水際対策を強化しているところであります。

その一方で、犯行グループの巧妙な話術により騙されている被害者の中には、金融機関の窓口において高額な現金を払い出す際に、「リフォームで使う費用」等と嘘の口実を申し出るケースが多数確認されております。このため、窓口を訪れた高齢者が「リフォームで使う費用」等の説明をした場合、それが詐欺被害によるものか否かを判別することが難しく、本当にリフォームをしようとしている高齢者であっても、詳細な事情聴取をせざるを得ないという状況にあります。また、多額の現金を持ち歩くことは、ひったくり等の被害に遭うことも懸念され、防犯上好ましくないと考えます。

このため、貴組合に加入する事業者等において顧客（高齢者）から50万円を超える代金（リフォーム代等）を請求する場合には、『自己宛小切手』又は『口座振込（振替）』により請求する取組を推進していただきたいと考えております。

金融機関窓口において、顧客の皆様は無用なご負担をお掛けすることを防止するとともに、電話詐欺被害の撲滅を期すため、何卒、趣旨を御理解の上、御協力をいただけますようお願い申し上げます。

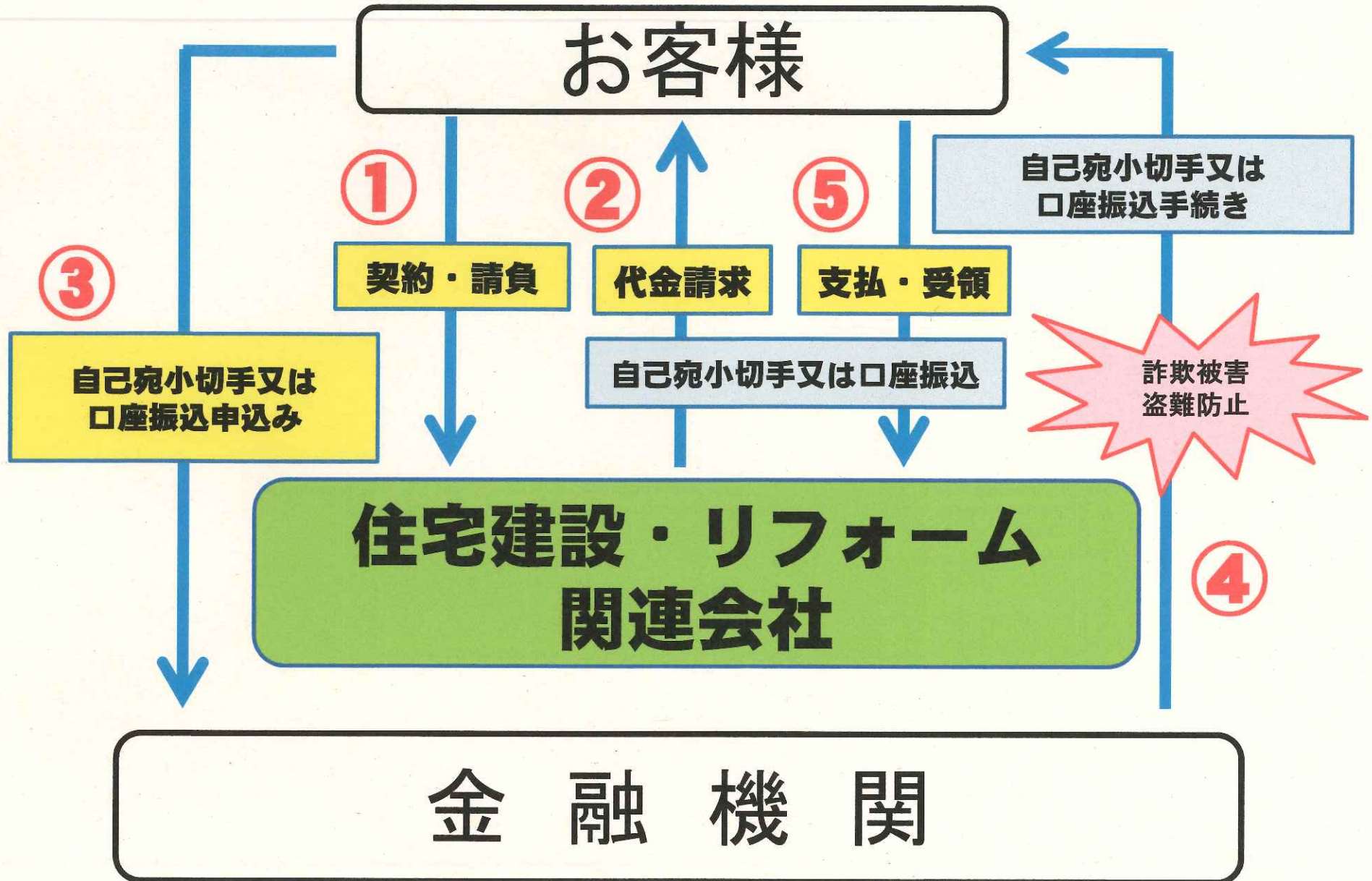
本件担当

生活安全企画課 藤本

電話055-221-0110

（内線3031）

振り込め詐欺をはじめとする電話詐欺撲滅に向けた対策の推進



自己宛小切手とは

- 預金者（顧客）からの依頼により、各金融機関の本店・支店が、自己（本店・支店）宛てに振り出す「小切手」のことをいい、預金小切手ともいう。
- 「振り出し」及び「取り立て（現金化）」とも数百円程度の手数料がかかるが、現金と同様の高い信用度を持つ。
- 支払提示期間は、振り出し日から10日以内。

具体的な流れ

- ① 事業者（ディーラー、建設業者等）から、顧客に自己宛小切手での代金（例えば120万5,000円）の支払いを請求（依頼）する。
↓
- ② 顧客が、取引のある金融機関（A銀行〇〇支店）の窓口へ行き、自己宛小切手（額面120万5,000円）の振り出しを依頼する。
↓
- ③ 依頼を受けた金融機関（A銀行〇〇支店）が、顧客の預金口座から120万5,000円を別段預金に入金して保管し、自己宛小切手を振り出す。
↓
- ④ 事業者が、顧客から、自己宛小切手で支払いを受ける。
↓
- ⑤-1 事業者が、自己と取引のある別の金融機関（B信用金庫△△支店）に小切手を持ち込み現金化（取り立て）を依頼した場合は、その場で通帳に記帳することができ、小切手が振り出し銀行に回り決済された時点で（概ね1～2日後に）現金化できる。
- ⑤-2 事業者が、振り出したA銀行〇〇支店に小切手を持ち込み現金化を依頼した場合は、その場で現金120万5,000円を受け取ることができる。ただし、線引小切手の現金化はできません（口座に入金される）。

※ 手数料など、金融機関によって取扱いが異なることがありますので、詳しくは、お取引されている金融機関にお尋ねください。

メリット

- 1枚の紙で済むので、持ち運びに便利。
- 現金を持つ必要がないので、安全。
- 紛失や盗難などに遭った場合も、被害を防ぎやすい。
- 電話詐欺を防ぐための「声かけ」で顧客と金融機関の負担を軽減できる。
- 銀行（金融機関）に支払い記録が残り、取引の明細書が経理上で役立つ。
- 受領の際、確認のため現金を数える必要がなくなり手間が省ける。
- 現金化するには一定期間を要し、支払先を特定できるため詐欺被害防止に有効である。